

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	日本語 I-2 (Japanese I-2)					担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型 AL
	2011-0-11-019	教養(留 学生科目)	必修	1単位	1年次	後期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型 AL
	2411-0-11-017	教養(留 学生科目)	必修	1単位	1年次	後期		

① 授業のねらい・概要					
<p>ぎのう の めざ 4技能(読む、書く、聞く、話す)を伸ばすことを目指す。 にほんごのうりよくしけん ごうかく 日本語能力試験(JLPT)N2に合格することを目指す。</p>					
② ディプロマ・ポリシーとの関連					
<p>しよくぎょうじん つうよう のうりよく 職業人として通用する能力／コミュニケーション能力</p>					
③ 授業の進め方・指示事項					
<p>じょうきょう しけん かた か まえ せつめい 状況によって、試験のやり方が変わる。試験の前に説明する。 まいかい さいご しゅつせきかくにん か しゅくだい 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストをする。宿題になることもある。 まえ つぎ 授業の前：次の授業で勉強するテキストの範囲を予習する。 あと ないよう かくにん 授業の後：授業の内容を確認する。 じゅぎょう にほんご おこな 授業はすべて日本語で行う。 じぶん くに ことば えいご 教室では、自分の国の言葉や英語を使わず、日本語で話すこと。</p>					
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能					
<p>できるだけ、日本事情1、日本事情2も履修すること。日本語I-1を必ず履修すること。</p>					
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。					
<p>①ABK 財団法人 アジア学生文化協会(2014年)『TRY! 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語』アスク(中国語版、ベトナム語 こうにゅう 版、英語版があるので、各自自分が使いやすいものを購入すること。)</p>					
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。					
<p>伊能裕晃他(2011)『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク 友松悦子他(2010年)『どなたときどう使う日本語表現文型辞典』アルク 佐々木瑞枝他(2006年)『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times 二通信子、佐藤不二子(2020年)『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク 日本語能力試験問題研究会(2011年)『日本語能力試験直前対策 N2 文字・語彙・文法』国書刊行会 田代ひとみ他(2011年)『新完全マスター読解 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク</p>					
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)					
<p>せっきよくてき さんか 積極的に授業に参加してください。 いがい 授業時間以外にも勉強してください。</p>					
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安					
<p>はんい ない ぶんぼう いじょうとくてん (1) 授業でやった範囲内のN2レベルの文法の問題で、90%以上 得点できた。 じゅんぴ ないよう げんこう りゅうちょう はっぴよう (2) テーマに関して 準備した内容を、原稿を見ずに 流暢に発表できた。 てきせつ こうせい な いみ とお じ ぶんしょう (3) テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る800~1000字の文章が書けた。</p>					
⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えた レベルを達成して いる	到達目標を達成し ている	到達目標達成には やや努力を要する	到達目標達成には 努力を要する	到達目標達成には 相当の努力を要す る

(1)	日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの文法の問題が解ける。	授業でやった範囲を超えて、N2 レベルの文法の問題で80%以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの文法の問題で、90%以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの文法の問題で、75～89%得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの文法の問題で、60～74%得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの文法の問題で、60%以上得点できなかった。
(2)	日常の事柄や自分のことについて、日本語で伝えられる。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表でき、質問にも答えられた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに発表できたが、流暢ではなかった。	原稿を見ながらであれば、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できた。	原稿を見ながらであっても、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できなかった。
(3)	日常の事柄や自分のことについて、まとまりのある文章が書ける。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る 1000 字以上の文章が書けた。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る 600～800 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックではおおよそ意味の通る 600 字以上の文章が書けなかった。

⑩ 学習の到達目標 (評価項目) とその評価の方法、フィードバックの方法							
学習到達目標 (評価項目)	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%	10%	15%	15%	15%		100%
(1) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙や文法の問題が解ける。	45%	10%			10%		65%
(2) 日常の事柄や自分のことについて、日本語で伝えられる。				15%	5%		20%
(3) 日常の事柄や自分のことについて、まとまりのある文章が書ける。			15%				15%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	かだい てんさく 課題は添削して返す。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間 (分) (※特別な持参物)	
1	オリエンテーション、 なつやす しゅくだいはっぴょう 夏休みの宿題発表	夏休みの宿題について発表できるように準備しておく	60分
2	テキスト9 食べ放題 (1)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
3	テキスト9 食べ放題 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
4	テキスト10 満員電車 (1)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
5	テキスト10 満員電車 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
6	ミニスピーチ1、文字・語彙1	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
7	テキスト11 ラーメンの紹介	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
8	テキスト12 ウォーキングシューズの開発 (1)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
9	テキスト12 ウォーキングシューズの開発 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分

10	テキスト 13 人生の転機 (1)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
11	テキスト 13 人生の転機 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
12	ミニスピーチ 2、文字・語彙 2	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
13	テキスト 14 オリンピックの開催について	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。	60分
14	文字・語彙 3	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。	60分
15	振り返り、文字・語彙 4	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。	60分
⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型 AL			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性